

仕様書
R6 年度事業

1. 業務名

宮古島脱炭素先行地域における事業化推進支援等業務

2. 本業務の目的

本市は令和 5 年 11 月に、「千年先の未来へ。」脱炭素エコアイランド宮古島というテーマで環境省の脱炭素先行地域に選定された。

これにより来間島を含む下地地区と狩俣地区を対象エリアとして、太陽光発電・蓄電池や電気自動車、省エネ機器、蓄熱冷凍冷蔵設備、省エネ機器等を最大限導入し、さらに先行地域内の発電量と消費電力量に応じてグリッド内の分散型電源にリアルタイムで充放電指令を出すことでスマートなエネルギーマネジメントを実現し、エリア内の再エネ地産地消を実現する。脱炭素を核に「エコアイランド宮古島」の取組みを更に進化させ、益々成長する観光業と共存する形で地域の持続可能性を向上し、郊外農漁村地域の活性化をも実現することを目指すこととなった。

脱炭素先行地域の交付金を本市にとって真に価値のあるものとするためには、再エネ事業の先行事業者と連携しながら島内に地域主体を中心とする PPA 事業の主体等を着実に育成するとともに、地域内で創出される再エネと連動した地域課題解決型事業について、地域の市民や自治会、事業者等の主体が主体的に関与し、その成果を享受することにある。

そこで、本業務では、脱炭素先行地域における屋根上太陽光発電 PPA 事業に地域主体が主体的に取り組むための地域内事業者の創出と、島外を含む先行事業者との協調的で前向きな連携を行うための契約や協定を含む仕組み構築、更には地域主体による地域課題解決型事業の創出支援を行うために、再生可能エネルギー事業の創出、地域における事業創出、契約や協定作りなどに専門的知見や必要な資格等を有する者に対し、これらの取り組み全体の支援業務を委託するものである。

5. 委託業務の内容

本委託業務においては、脱炭素先行地域における具体的な取り組み推進に際して、以下のことについて委託する。なお、各項目について、脱炭素先行地域の申請段階において行った検討・調整内容や取り組み内容を踏まえた上で、担当課と具体的な支援内容について協議しながら進めること。これまでの資料や申請書類等、検討に必要な資料は担当課より提供する。

(1) 脱炭素先行地域における太陽光 PPA 事業等を実施するための関係者間調整支援

脱炭素先行地域における太陽光発電 PPA 事業の推進にあたっては、国の交付金利用のルールに適合的な形で、急速な地域内の太陽光発電導入を図るための事業スキームの構築が不可欠である。その際、以下のような点に配慮した形で、事業環境を実現するための公募条件や間接補助事業の制度設計、事業者間協定等の調整が必要となる。

- ① 先行地域内外の電力消費者の納得性と先行地域における再エネ最大限導入を両立できる契約条件の作り込み（現状において先行事業者との間で調整中の価格イメージをもとに、特約事項を含む詳細を検討）
- ② 脱炭素地域交付金の交付要領に適合的で、かつ地域の受益に配慮した間接補助制度の検討と収益納付や寄付の仕組み等の構築
- ③ 先行地域内における適切なエネルギーマネジメントの実現を可能とし、同時に地域内事業者間の公平性にも配慮されたアグリゲーターとの契約条件等の調整
- ④ 先行地域内に収益性が異なる多様な利用者が存在することから、面的な普及拡大を実現させるための事業推進の在り方の検討

- ⑤ 事業ノウハウを有する先行事業者と地域の新規事業主体が相互に利益を享受できる連携・協力関係の構築

そこで、本市としては、先行事業者や地域内の事業主体候補とも協議し、適切なガイドラインや指針を示しながら、先行地域における効果的な太陽光発電の普及と地域主体の育成、地域内の経済循環の拡大を実現させるための調整を行う。この調整や公募要領、補助事業の検討、ガイドラインの設定等の作成を担当課と共に行うこと。

(2) 地域内 PPA 事業の実現支援

(1) により脱炭素先行地域における PPA 事業者の公募要領、補助事業の作り込み、事業者間協定やガイドライン等の設定がなされると、地域内で新たに脱炭素先行地域における事業を展開しようと企図する新規事業者候補が生まれるものと期待されるが、実際の事業実現にあたっては様々なハードルがあり、特に同種事業の経験に乏しい地域主体が参入を果たすためには、資金調達能力、信用力、事業に対するノウハウ等を強化していくことが必要となってくる。

そこで、地域主体による太陽光発電事業（PPA 方式）について、具体的な事業実現に向けて、以下のような支援が必要となると考えられる。

- ① PPA 事業や太陽光発電事業の実施に向けた基本的知見について、先行事業者や専門家等からレクチャーを受ける機会を設定する（次年度以降、PPA 事業や地域課題解決型事業のノウハウ習得や事業計画立案を目的とした研修事業の設計等も検討するが、本年度は、そのプレ講義とも位置付けられる勉強会を試行的に1ないし2回程度行う）。
- ② 台風への対応や、島内で完結している電力系統を前提に、蓄電池を含む調整力を具備した形で離島型の PPA 事業を実現するための事業の在り方や必要要件を整理し、それに適合的な事業実現を支援する。
- ③ 先行事業者と必要に応じて共同事業を実現できるよう、先行事業者との連携支援や共同事業スキームの検討を支援する。
- ④ 構造的に不足する資金調達能力を補完するために、島外を含む市民ファンドや公的基金などを利用するための条件等をヒアリング等により整理する。
- ⑤ 地域内金融機関の担当者へのヒアリング等を通じて、地域主体による資金調達要件や必要な市に求められる関与の内容等を整理する

これらの地域内の PPA 事業者候補に対する支援を、担当課や脱炭素先行地域の共同申請者とも協力しながら行うこと。

(3) 公共施設の太陽光発電 PPA モデル事業の設計

地域事業主体が市場参入を果たし事業継続をしていくためには、その事業初期段階において、実績となる事業経験を積むことが重要である。そこで、脱炭素先行地域の実施計画上也公共施設の屋根上太陽光事業をモデル事業として活用し、地域事業主体の育成と実績づくりに繋げることを予定している。

こうしたモデル事業の設計では、地域事業者育成という政策目的を達成させながら、公的事业として公平性を損なわない実施要項等を設定することが不可欠である。そこで、他地域の類似事業をも参考にしながら、担当課と協力して当該モデル事業の設計を行う。具体的には以下の点に留意して設計を行う。

- ① モデル事業への参加要件が地域事業主体の育成という目的を果たし、同時に、一定の公平性も維持できるものとする
- ② 太陽光パネルの設置規模等において、設備単体の経済合理性だけでなく、当該地域の再エネ化に向けた最大限の導入を実現するための適切なインセンティブを働かせること
- ③ 地域内の電力システムの安定性と脱炭素グリッドの運用を可能にするために必要な

規模の蓄電池やセンサー等の設置を必要とすること

- ④ 島外の事業者や先行事業者との共同提案を可とするが、地域主体に一定の主導権が残る形となるよう条件付けをすること

(4) 地域課題解決型事業の実現支援

脱炭素先行地域事業の柱は(3)までに詳述した屋根上太陽光 PPA 事業と、以下の地域課題解決型事業の実現の2つである。

ここで、地域課題解決型事業は、実施を目指す地域主体による事業実現を支援するという性質上、今後の検討において実現スケジュールが変更になる場合や、新たな支援対象事業が企画される場合などが考えられる。そのため、受託事業者としては、地域の実施主体候補と緊密にコミュニケーションをとりながら、担当課とも協議のうえで、柔軟に支援内容を決する必要がある。本仕様書では以下に現状検討されている地域課題解決事業案と想定支援内容を記載するが、地域主体の実情に即して実際の支援内容は協議しながら進めるものとする。支援対象となる事業内容が変更になる場合等には、業務負担の大幅な変更が生じない限度でそれに応じるものとする。

<事業案1 空き家活用宿泊事業>

空き家活用宿泊事業は、特に下地地域において太陽光パネルと蓄電池を設置する空き家の一部について、これを観光客向けの簡易宿泊施設としても活用し、同時に地域住民向けの宿泊施設としても利用できるように整備することで、地域再エネ電力の増強と観光需要の地域への取り込み、さらには地域住民への受益を両立しようとする取り組みである。狩俣地区においても今後同様の事業を検討する可能性があり、その場合には、狩俣地区の事業についても支援の対象とする。

この取り組みは、既に実現を目指す実施主体候補は存在しているものの、様々な調整や準備行為が必要である。そこで、当該事業の実現に向けた実施主体候補へのコーチングとコンサルテーションを行うものとする。具体的には以下のような業務となる。

なお、コーチングやコンサルテーションはオンラインでの実施を中心とするが、特に必要な場合には対面での助言を行う。

- ① 実施主体候補が仲間集めをし、チームを組成するために必要な事業概要案の構築支援
- ② 地域の空き家把握と所有者への打診、交渉等に必要な書面等の作成支援
- ③ 国土交通省等の補助事業への申請支援
- ④ 空き家協議会など関係団体への説明、調整等の実施支援
- ⑤ 事業計画、投資計画の策定支援
- ⑥ 資金調達等に関する助言、資金調達申込書類等の作成支援

<事業案2 地域内EV活用事業の実現支援>

地域内におけるEV(電気自動車)活用も、地域課題解決事業のうち特に支援が必要と考えられる事業である。

この事業は、EVという多額な投資が必要となるため、その運用と投資回収計画の立案を相当の精緻さで行う必要がある。また、バス会社やタクシー会社との協力体制や、レンタカー事業との連携など、調整が必要な要素も多い。

そのため、事業計画の立案と各種調整のための支援が必要である。具体的には以下のような業務となる。

- ① EVを活用した地域活用計画と収益モデルの検討支援
- ② 特に、地域内二次交通との連携を図る場合の実施プラン策定支援
- ③ 投資計画と資金計画の策定支援
- ④ バス会社、タクシー会社、関係団体への説明資料等の作成支援

⑤ 市民ファンド等の活用を検討する場合の申請支援

(5) 担当課の行う支援政策等の策定支援

脱炭素先行地域を実現するにあたり、(1)で記載したPPA事業者の公募要領や間接補助事業の要綱の作り込みに加えて複数の支援政策の設計や運用ルール等を策定する必要がある。脱炭素先行地域の実施期間である5年間のうち、特に当初3年間にこうしたルール作りや制度作りの業務が集中することを予想しているが、特に初年度のうちに策定しておかなければならないものとして以下のものがある。これらの策定についても支援を行うものとする。なお、必要となる施策等は、今後において変更が生じる場合があり、受託者は、担当課との協議により柔軟に必要な施策の検討を支援することが求められる。その場合、受託者は業務負担の大幅な変更が生じない限度でそれに応じるものとする。

- ① 既に太陽光パネルを設置済みの住宅等に対する蓄電池導入支援
- ② エネルギーマネジメントを受け入れ省エネ家電を設置する際の生活情報等の提供に関するルール
- ③ 空き家等を賃貸する際の標準的合意ルールのイメージ案（所管は建築家であるが、仏壇の管理等についても配慮した内容となるものが必要であるため一定のイメージを検討する）
- ④ 地域主体がPPA等の契約を取りまとめる場合の運用ルール
- ⑤ 地域内共同ブランド等の検討と権利の帰属
- ⑥ 屋根上太陽光事業について地域や自治体設置の基金等への寄付等のルール（収益納付型補助金や寄付条件付き補助金の活用を含む）

(6) 協定書や契約書等の必要書類の作成

本業務においては、以下のような必要書類の作成が必要となることが予想される。

- ① 先行地域におけるPPA事業の事業者及び本市の協定書面および必要に応じて一般送配電事業者及びアグリゲーターとの協定・合意書面
- ② 先行地域において地域の新規事業主体も活用可能な契約条件を記載した書面（先行事業者が利用している契約条件をベースに作成）
- ③ 地域事業主体が施工会社と締結する標準的な契約書面
- ④ アグリゲーターとPPA事業者との契約条件を示す書面
- ⑤ PPA事業者が事業状況や収益・費用構造を本市に報告するために必要な書面（先行事業者と協議しながらフォーマットを調整）

そこで、本事業の成果物として、これらの必要書類とその活用に向けた注意事項等をまとめたマニュアルを成果報告書の位置づけでとりまとめ提出する。

(7) 脱炭素先行地域事業推進の総括支援

脱炭素先行地域の推進は、本市にとっても、初めての試みであり、事業規模も大きいことから、その事業の推進方法についても、外部の専門的な助言（法的助言を含む）が必要な場面がある。そこで本業務においては、担当課からの相談に応じて、脱炭素先行事業の推進に向けた会議の実施や総括的な助言等を行うことも期待されるものとする。特に、受託事業者の有する専門性（法的知見、条例制定等の政策的知見、制度的知見を含む）やネットワークを活用した助言についても、必要に応じて行うものとする。

(8) その他

本業務はプロポーザル方式による随意契約を想定しており、業務の詳細については本業務受託者との協議により定めるものとする。本事業の性質上、受託者は、再生可

能エネルギー事業に対する一定の知見を持つと同時に、地域主体による事業創出や事業者間協定、契約条件等の作り込み、本市の補助制度の設計などについても相当の知見を有し、本市又はその他の沖縄県内の離島でこれら業務の実績を持つものとする。また、次年度については、せんねんプラットフォームの事業の中で、脱炭素に関する市民WS等を行うことが予定されていることから、必要に応じてせんねんPFの担当者や業務受託者との情報共有及び合同会議等を実施し、円滑な連携を行っていくことを求めるものとする。

6. 委託業務の期間

契約締結日の翌日から令和7年3月31日

7. 委託業務の成果物

委託業務の完了時には、5.（6）で定めた必要書面及びその取りまとめ説明書面及び添付書類を、紙・データの双方で提出すること。

8. その他

その他必要に応じ、協議の上、取扱を定めるものとする。

以上

別紙：脱炭素先行地域概要